

リメンバー新聞

89号

2018年2月11日

編集・発行
リメンバー名古屋自死遺族の会
<http://will.obi.ne.jp/remember/>
remember_nagoya@yahoo.co.jp
FAX:020-4668-8925
郵便:〒612-8799
京都府京都市伏見区塙木町1148
伏見郵便局留 リメンバー名古屋

「リメンバーin岡崎」を開催しました

2018年1月21日、岡崎市において「リメンバーin岡崎」を開催しました。今回は、5名の方の参加があり「わかちあい」を行いました。

2010年12月に始めた岡崎市での自死遺族の「わかちあいの会」は、今回で8回目となりました。岡崎での会は愛知県の助成金、岡崎市保健所にご協力いただいて開催しています。今回の岡崎の場が、地域の方々の自死遺族への理解、地域の遺族の方の支えにつながっていくことを願っております。

※名古屋で2カ月に一度行っている「わかちあいの会」は助成金等ではなく、ご参加いただいた方の参加費で運営しています。

ご相談の窓口

○自死遺族向け面接相談（無料）

●愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377 毎月第3木曜日 午後2時~3時30分

●名古屋市精神保健福祉センターここらぼ

要予約 052-483-2095 每月第3火曜日 午前10時~12時

○電話相談のご案内

自死遺族に限らない、幅広い窓口です。

●あいちこころほっとライン365

愛知県精神保健福祉センター 毎日 9:00~16:30 052-951-2881

●名古屋市こころの健康電話相談

名古屋市精神保健福祉センターここらぼ 月~金 12:45~16:45

052-483-2095

各都道府県、政令指定都市（名古屋市、浜松市、静岡市等）には、精神保健福祉センターが必ず設置されています。精神的なお悩みがある場合、まずは、お住まいの地域の精神保健福祉センターにご相談されるとお役に立つ場合があります。

○法的なことでのご相談

●全国自死遺族法律相談ホットライン

弁護団の弁護士が直接対応致します

電話番号 050-3786-1980

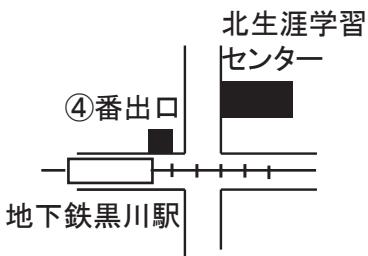
受付時間 毎週水曜日（祝日を除く）12時から15時まで

自死遺族支援弁護団 <http://www.jishiizoku-law.org/>

次回の遺族会

第86回

2月12日(月・祝) 13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は…

第87回 2018年4月29日(日)
北生涯学習センター

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。
パソコンの方
<http://will.obi.ne.jp/remember/>
携帯電話の方
<http://www.will.obi.ne.jp/m/>
電話案内（録音でのご案内）
090-8544-9408

新聞郵送をご希望の方へ

1月~6月末までのお申し込み(前期)…1000円

7月~12月末までのお申し込み(後期)…500円

詳しくはスタッフまで

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

近隣の遺族会のご案内

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト（Dearest）」が開催されています。

日時：2018年3月18日（日）13:30-16:00

場所：名古屋市中村生涯学習センター

地下鉄東山線「本陣」駅

対象：家族以外の大切な人（恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など）を自死（自殺）で亡くされた方

参加費：500円

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heya.jp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

日時：2018年3月3日（土）

14:00～16:00（開場 13:45）

場所：名古屋市市政資料館 **参加費：**500円

連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

090-4447-1840

<http://cocoroibasyo.org/>

次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向合う宗教者の会」により、第19回「いっぷく処」が開催されます。

～「いっぷく処」とは～

大切な人を自死で亡くされた方が集い、それぞれのお気持ち、それぞれの想いをお互いに語り、お互いに聞きあう、温かい、わかつちあいの場のことです。

（主催者文書より）

日時：2018年3月2日（金）

14:30-17:00（14:00受付開始）

場所：真宗大谷派名古屋別院（東別院）本堂下広間

地下鉄名城線「東別院」下車

参加費：無料

申し込み：不要

対象：大切な方を自死で亡くされた方

主催：いのちに向合う宗教者の会

連絡先：info@inochi.in

<http://inochi.in/>

真宗大谷派名古屋教区教化センター内

（052）323-3686 担当：蓮容（はすい）

りめんばー

先日30年ぶりにある方にお会いしました。学生時代に北海道で昆布漁のアルバイトをしていたことがありました。その時にお世話になった方です。朝3時頃に起き、朝食をとり、浜で昆布を引き上げ、干すという生活を、そのお宅に寝泊まりしながら40日ほどしていました。

30年前の40日を共有しただけなのに、その時間が30年を経た今まで共に続いてきたということだけでも、奇跡的なものを感じます。お会いしてもお互いわからないのではないかという不安は、顔を見合せ、声を通わせていくうちに消えていき、30年前に引き戻されていきます。あまり変わっていない声を聴きながら、歳をとった姿の向こう側に、お互いに若かりし30年前の姿が映っていたのでしょう。

少し前にあった高校時代の同窓会でも、似たような経験をしました。その時は、恩師と話し始めたとたん、涙があふれてくれました。懐かしさだけではなく、時を引き戻していく間にどうしても通り過ぎなければいけない、その間の人生の傷口にふれてしまうからなのかもしれません。

北海道の方には、年賀状をやりとりする中で、結婚し、死別したことを伝えていたように思います。別れ際、やはり涙が出そうになってきました。「あれからこんなことがあったんですよ！」って心の中で叫びながら、もう戻ることのできない30年前から、再び現実の時間へと、ひとり帰路についたのでした。

（KN）